

事例 胃がん で 44日間 入院

最近食欲がなく、念のため病院で検査を受けた。内視鏡検査の診断結果、胃がんが判明し即日入院となる。摘出手術を実施。術後は順調に回復し、転移もみられなかった。ひと半月ほど入院の後、無事に退院した。

なお、胃切除した後の慢性的障害としてよくある胃切除後症候群（食後に動悸、悪心、腹痛、顔面蒼白などの症状が急に起きる）の説明を受け、退院後もしばらくは近くのクリニックへの通院を指示される。

支払総額（一般）
805,906円
(上位所得者の場合 933,158円)

医療費	1月目	2月目	3月目	合計
入院日数	7日	30日	7日	44日
初診料 (円)	2,730	0	0	2,730
投薬料 (円)	570	0	0	570
注射料 (円)	9,560	23,280	5,820	38,660
処置料 (円)	3,180	0	0	3,180
手術料 (円)	339,180	0	0	339,180
検査料 (円)	51,620	38,290	25,810	115,720
画像診断料 (円)	36,870	31,950	18,440	87,260
リハビリテーション料 (円)	0	0	0	0
入院料 (円)	105,100	379,280	74,340	558,720
医療費合計 (円)	548,810	472,800	124,410	1,146,020
3割自己負担額 (円)	164,640	141,840	37,320	343,800 A
高額療養費 (2006年10月改正以降)	1月目	2月目	3月目	合計
高額療養費の自己負担限度額(一般) (円)	82,918	82,158	—	—
高額療養費 (円)	81,722	59,682	0	141,404 B
その他の費用	1月目	2月目	3月目	合計
食事自己負担額*1 (円)	0	3,900	1,040	4,940
室料(差額ベッド)*2 (円)	35,000	150,000	35,000	220,000
雑費*3 (円)	182,400	139,670	56,500	378,570
小計 (円)	217,400	293,570	92,540	603,510 C

*1. 食事自己負担額:1食260円×食事回数計19回で計算。
*2. 室料(差額ベッド):この事例では1日5,000円として計算。
*3. 上記はあくまで一つの事例であり、状況により金額も異なります。

支払総額(一般) / 2006年10月改正以降	1月目	2月目	3月目	合計
A - B + C (円)	300,318	375,728	129,860	805,906

事例データ出典：NIメディカルオフィス ※この事例は架空のもので、金額は2006年4月の診療報酬に、高額療養費は2006年10月改正に基づいています。

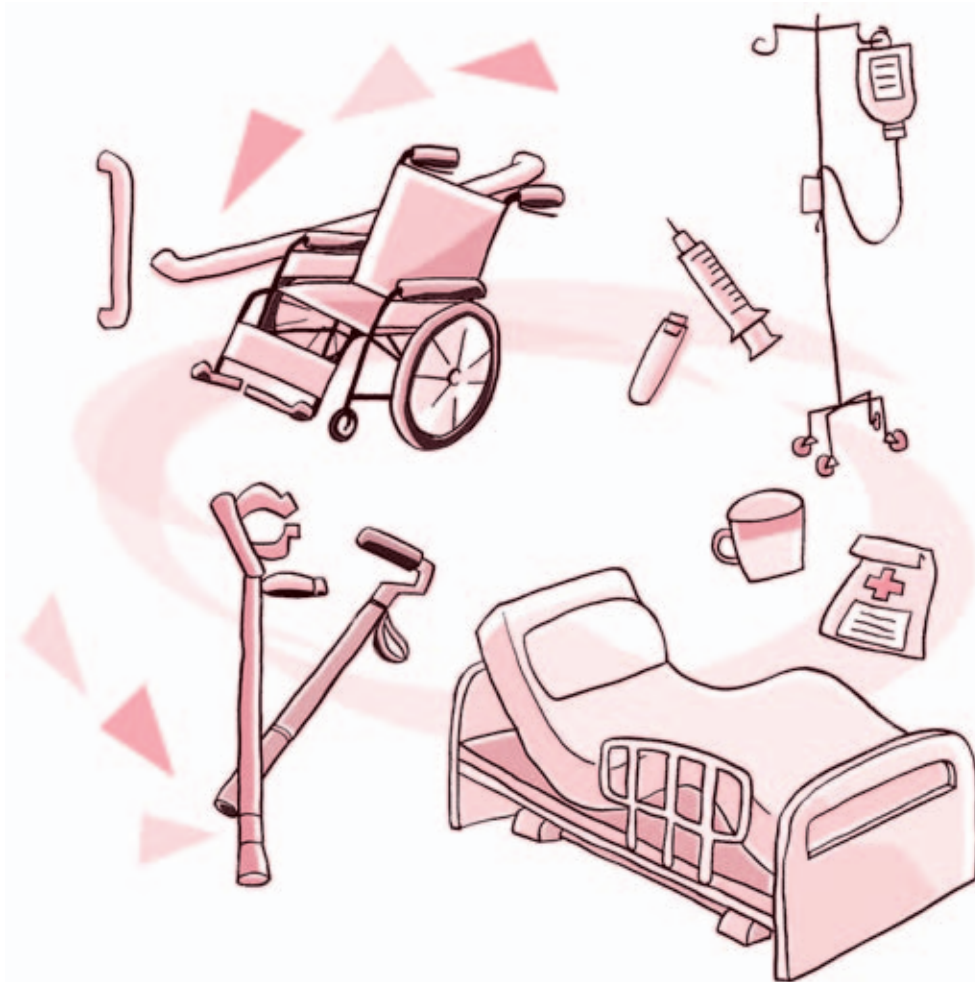
* 「抜粋版」は、募集資料等としての登録はしておりませんので、参考資料としてお使いください。
* 「抜粋版」の内容は、弊社ホームページ「FPS-NET」(URL: <http://www.fps-net.com>) からダウンロードできます。

「よくみえる! 医療・介護のはなし 抜粋版」(ベストプランナー9月号付録) 平成18年9月1日発行 <非売品>
発行/株式会社セールス手帖社保険FPS研究所 TEL:03-3352-8302(代)

よくみえる! **抜粋版**
医療・介護のはなし

2006年
制度改正
対応版

著者：大野大平(社会保険労務士、行政書士) 大場幸子(社会保険労務士、産業カウンセラー)

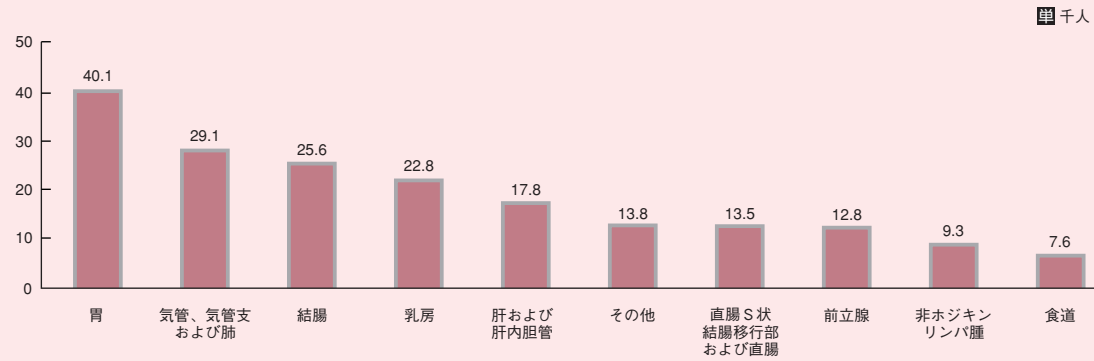


FPS
セールス手帖社保険FPS研究所

約4万人が胃がん

がんの総患者数の中で、最も多いのが胃がん。以下、気管・気管支・肺がん、結腸がん、乳がん、肝がんと続きます。

DATA 1 がんの主な部位別患者数

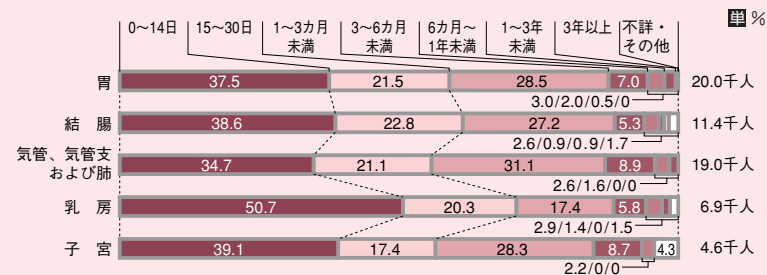


注 大腸がんは、「結腸」「直腸S状結腸移行部及び直腸」及び「肛門および肛門管」の悪性新生物をあわせたもの。
 出 厚生労働省「平成14年 患者調査」

がんで入院と一口にいても…

入院日数は部位によって異なりますが、全体の8~9割が3か月未満の入院です。平均では35.7日となっています。

DATA 2 がんの主な部位別入院期間

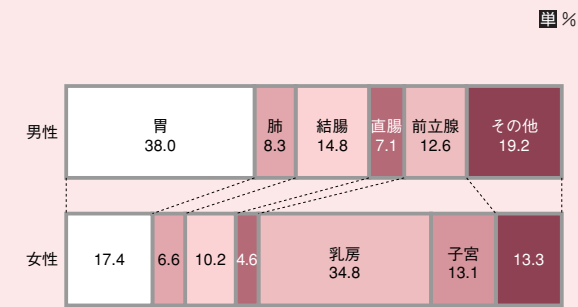


注 ①グラフ右側の数値(人数)は推計入院患者数。
 ②部位区分は傷病中分類より抜粋。総数には不詳を含む。100人未満を四捨五入した数値を使用しており、端数処理のため割合の合計が100.0に対して過不足となる部分は、不詳・その他に含めた。
 出 厚生労働省「平成14年 患者調査」

早期発見がポイントです

人間ドックで発見されたがんは、男性が胃がん、女性は乳がんが最も多く、それぞれ全体の3分の1以上を占めています。

DATA 3 人間ドックで発見したがんの臓器別割合

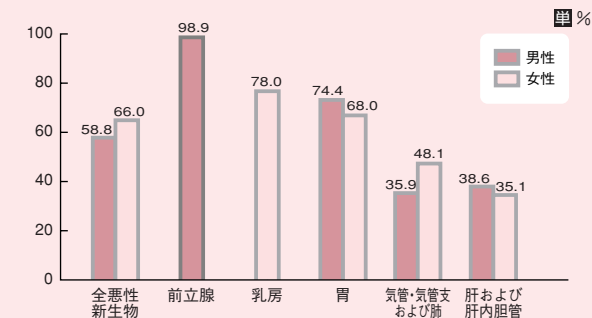


出 有限責任中間法人 日本人間ドック学会「人間ドックの現況」

「5年生存率」、ご存じですか？

がんの初回入院患者の5年生存率は、部位によっては100%に近い数値に達しています。

DATA 4 主ながんの初回入院患者の5年生存率(部位別)



注 「がんの5年生存率」とは、がんと診断されてから5年後に生存している確率。病後の経過の指標として用いられる。
 出 がん研究振興財団「がんの統計 2005年版」国立がんセンター中央病院入院がん登録

この「抜粋版」に掲載のデータ、事例や、健康保険・介護保険制度の最新情報が満載！

「よくみえる! 医療・介護のはなし 2006年制度改正対応版」
 (平成18年10月 健康保険制度/平成18年4月 公的介護保険制度)

新刊
 訪問ツールに
 最適!

- 健康保険・公的介護保険を「制度編」と「事例編」から解説。
- 「DATA編」はコンサルティングにつながるデータを満載!
- この一冊で健康保険・公的介護保険がよくみえる、すぐわかる!

■ B5判・64ページ
 ■ 定価 735円

お申し込みは、(株)セールス手帖社保険FPS研究所 (TEL:03-3352-8302/ホームページ <http://www.fps-net.com>) まで。

がんは、早期発見、早期治療により治る病気になりつつあるといわれていますが、再発の問題や、自己負担のかかる治療法も多く、経済的な負担が重い病気です。

*疾病名は、出典等の関係により、同一のものに対し一部複数名称を使用しています。